



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 トレーディア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9365 URL  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 古郡 勝英  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 茨木 信弘 TEL 078-391-7170  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,702	15.0	424	41.4	593	32.8	518	68.5
2022年3月期第3四半期	13,660	—	300	—	447	—	308	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 592百万円 (80.5%) 2022年3月期第3四半期 328百万円 (170.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	354.38	—
2022年3月期第3四半期	210.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,293	3,744	33.2
2022年3月期	10,112	3,225	31.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,744百万円 2022年3月期 3,225百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2022年3月期の期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 記念配当 20円00銭（設立80周年記念配当）

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	8.8	440	47.5	630	41.7	530	72.9	361.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	1,470,000株	2022年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	5,831株	2022年3月期	5,831株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	1,464,169株	2022年3月期3Q	1,464,706株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しているものの、経済活動は平時の動きを取り戻しつつあり、景気は緩やかな改善傾向で推移しました。当社グループが属する港湾物流業界における貿易に関しましては、依然として続く円安基調、原油や輸入原材料の調達コスト高止まり、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中国のコロナ政策変更による混乱、コンテナ船の需要鈍化による運賃下落等、先行き不透明な状況が継続するものと予想されます。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比3.8%増加し、円安の影響で国際部門の収入が増加したため、営業収入は前年同期比15.0%増の157億2百万円余（対前年同期20億42百万円余増）となりました。損益面につきましては、営業総利益は前年同期比18.9%増の10億3百万円余（対前年同期1億59百万円余増）となりました。営業損益は、営業費用、一般管理費が増加したものの、前年同期比41.4%増の4億24百万円余の利益（対前年同期1億24百万円余増）、経常損益は、持分法による投資利益等が減少しましたが、受取配当金が増加したため、前年同期比32.8%増の5億93百万円余の利益（対前年同期1億46百万円余増）となりました。さらに特別利益として投資有価証券売却益1億48百万円余を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比68.5%増の5億18百万円余（対前年同期2億10百万円余増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①輸出部門

輸出部門におきましては、食料品と雑貨の取扱が増加したものの、主力の機械機器製品が減少し、取扱量は前年同期比で微増となりました。しかしながら、取扱件数が前年を下回り、通関料収入等の減少で収益性が改善せず、輸出部門の営業収入は前年同期比4.1%減の20億21百万円余（対前年同期86百万円余減）、セグメント損失30百万円余（前年同期はセグメント利益48百万円余）の計上となりました。

#### ②輸入部門

輸入部門におきましては、繊維製品、機械製品の取扱が減少しましたが、雑貨が大きく増加し、取扱量は前年同期比13.5%増加となりました。また、取扱件数が前年を上回り、輸入部門の営業収入は前年同期比4.0%増の39億18百万円余（対前年同期1億49百万円余増）となりましたが、収益面で貢献せず、セグメント損失11百万円余（前年同期はセグメント損失34百万円余）の計上となりました。

#### ③国際部門

国際部門におきましては、輸出・輸入ともに、下期に入り運賃の下落はあったものの、当初の想定レートよりも円安が継続した影響で、日本円で収受する運賃収入が増加したため、営業収入・セグメント利益が増加しました。輸出においては、取扱量は前年同期比で微増となり、営業収入は前年同期比19.4%増加となりました。輸入においては、取扱量は前年同期比8.4%減少しましたが、営業収入は前年同期比28.0%増加となりました。その結果、営業収入は前年同期比25.7%増の96億15百万円余（対前年同期19億68百万円余増）、セグメント利益は前年同期比75.0%増の4億18百万円余（対前年同期1億79百万円余増）の計上となりました。

#### ④倉庫部門

倉庫部門におきましては、安定した賃料収入により、営業収入は前年並みの43百万円余となりました。セグメント利益は前年並みの40百万円余の計上となりました。

#### ⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比13.0%増の1億5百万円余となり、セグメント利益は前年同期比2.1%減の7百万円余の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入1百万円余を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億81百万円余増加し、112億93百万円余となりました。流動資産は11億19百万円余増の53億13百万円余、固定資産は61百万円余増の59億79百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金、立替金の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産の減少がありますが、無形固定資産、投資その他の資産の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7億30百万円余増加し、53億68百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、68百万円余減少し21億80百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、賞与引当金の減少がありますが、短期借入金、その他の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億19百万円余増加し、37億44百万円余となりました。これは、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期までの収益の推移、当社グループの状況等を勘案し、2022年11月11日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細については、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正等に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	784,056	1,269,516
受取手形、売掛金及び契約資産	2,028,138	2,187,207
立替金	1,221,690	1,714,203
その他	162,395	147,100
貸倒引当金	△2,010	△4,379
流動資産合計	4,194,271	5,313,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,131,901	1,075,665
機械装置及び運搬具（純額）	10,471	30,738
工具、器具及び備品（純額）	4,173	3,336
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	110,322	91,131
有形固定資産合計	3,038,524	2,982,529
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	39,278	63,242
無形固定資産合計	73,838	97,802
投資その他の資産		
投資有価証券	1,378,424	1,413,596
差入保証金	774,346	773,691
退職給付に係る資産	37,112	70,606
その他	619,885	645,765
貸倒引当金	△4,397	△4,435
投資その他の資産合計	2,805,372	2,899,223
固定資産合計	5,917,735	5,979,555
資産合計	10,112,006	11,293,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,406,156	1,385,616
短期借入金	2,586,139	3,086,139
リース債務	51,378	49,412
未払法人税等	90,162	175,295
賞与引当金	264,130	158,238
その他	239,524	513,336
流動負債合計	4,637,490	5,368,038
固定負債		
長期借入金	1,994,350	1,869,745
リース債務	78,944	95,793
役員退職慰労引当金	75,822	89,622
繰延税金負債	86,853	112,398
その他	13,110	12,650
固定負債合計	2,249,080	2,180,210
負債合計	6,886,571	7,548,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	2,008,184	2,453,743
自己株式	△11,646	△11,646
株主資本合計	2,901,964	3,347,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300,168	368,443
為替換算調整勘定	13,069	29,096
退職給付に係る調整累計額	10,232	△106
その他の包括利益累計額合計	323,470	397,432
純資産合計	3,225,435	3,744,956
負債純資産合計	10,112,006	11,293,205

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収入	13,660,493	15,702,746
営業費用	12,816,303	14,698,871
営業総利益	844,190	1,003,874
一般管理費	544,098	579,661
営業利益	300,092	424,212
営業外収益		
受取利息及び配当金	64,366	118,160
持分法による投資利益	47,822	22,496
その他	87,380	76,824
営業外収益合計	199,568	217,482
営業外費用		
支払利息	45,904	47,223
その他	6,457	554
営業外費用合計	52,362	47,777
経常利益	447,298	593,917
特別利益		
固定資産売却益	—	29
投資有価証券売却益	0	148,639
特別利益合計	0	148,669
特別損失		
固定資産除売却損	60	0
特別損失合計	60	0
税金等調整前四半期純利益	447,238	742,586
法人税等	139,234	223,710
四半期純利益	308,003	518,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	308,003	518,876



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	308,003	518,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,419	68,274
退職給付に係る調整額	△9,208	△10,339
持分法適用会社に対する持分相当額	9,203	16,026
その他の包括利益合計	20,414	73,961
四半期包括利益	328,418	592,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328,418	592,838
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	2,108,471	3,768,826	7,647,247	44,340	91,608	13,660,493	—	13,660,493
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	1,980	1,980	△1,980	—
計	2,108,471	3,768,826	7,647,247	44,340	93,588	13,662,473	△1,980	13,660,493
セグメント利益又は損失(△)	48,987	△34,675	239,232	39,020	7,527	300,092	—	300,092

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△1,980千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	2,021,743	3,918,382	9,615,603	43,260	103,755	15,702,746	—	15,702,746
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	1,980	1,980	△1,980	—
計	2,021,743	3,918,382	9,615,603	43,260	105,735	15,704,726	△1,980	15,702,746
セグメント利益又は損失(△)	△30,608	△11,894	418,599	40,748	7,367	424,212	—	424,212

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△1,980千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。